

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
鳥取県西部地域	米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、南部町・伯耆町清掃施設管理組合、鳥取県西部広域行政管理組合	平成 27 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	平成 27 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成25年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	34,309 t	30,195 t (-12.0%)	47,595 t ( 38.7%)	-322.7%
	1事業所当たりの排出量	2.19 t/事業所	1.76 t/事業所 (-19.6%)	2.19 t/事業所 ( 0.0%)	0.0%
	生活系 総排出量	56,356 t	50,009 t (-11.3%)	50,994 t (-9.5%)	84.2%
	1人当たりの排出量	182 kg/人	158 kg/人 (-13.2%)	167 kg/人 (-8.2%)	62.4%
合 計 事業系生活系総排出量合計	90,665 t	80,204 t (-11.5%)	98,589 t ( 8.7%)	-76.0%	
再生利用量	直接資源化量	6,331 t (7.0%)	6,465 t (8.1%)	25,515 t ( 25.9%)	1716.4%
	総資源化量	21,678 t (23.7%)	24,417 t (30.1%)	37,971 t ( 38.3%)	228.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	18,679 MWh	18,600 MWh	21,174 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	6,060 t (6.7%)	4,498 t (5.6%)	2,878 t ( 2.9%)	343.7%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	190,088 人	183,325 人	187,380 人	—	
公共下水道	污水衛生処理人口	108,458 人	110,288 人	111,240 人	100.9%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	57.1%	60.2%	59.4%	74.2%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	28,374 人	27,371 人	28,217 人	103.1%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	14.9%	14.9%	15.1%	—%
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	20,301 人	19,104 人	20,217 人	105.8%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	10.7%	10.4%	10.8%	-42.3%
未処理人口	污水衛生未処理人口	32,955 人	26,562 人	27,706 人	104.3%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化（指定ごみ袋制度）	2市6町1村	ごみ処理費用負担の公平性の確保、分別徹底等から有料指定袋制を継続していく。	H27～R元 (H27～R元)	排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を図るために、家庭ごみの有料化について継続して検討を行った。 【米子市】米子市廃棄物減量等推進審議会において見直しを行った。(H30) 【伯耆町】R元年度から布類ごみ袋の販売を行った。 【南部町】R2年度から布類ごみ袋の販売を行った。
	12	環境教育・普及啓発	2市6町1村	ごみ処理施設の見学会、講師派遣等により、環境学習を充実する。	H27～R元 (H27～R元)	広報紙、ごみ分別収集カレンダー、小学生の社会科見学、自治会への分別収集等の説明会等で、環境学習・施設紹介を行った。 【日吉津村】小学生5.6年生を対象に鳥取県地球温暖化防止活動推進センターから講師の派遣により環境学習を実施 【日野町】ごみ処理施設の見学会を実施
	13	マイバック運動・レジ袋対策	2市6町1村	広報等を利用した情報発信、イベントでの資料展示等を通じて情報を提供する。	H27～R元 (H27～R元)	広報等で情報発信、公民館イベントで資料等の展示を行った。 【日吉津村】アンケート調査を実施し、利用率向上を図った。

14	厨芥ごみ（生ごみ）の発生抑制、再生利用の促進	2市6町1村	水切り対策等	H27～R元 (H27～R元)	広報等で情報発信、啓発を行った。 【伯耆町】生ごみ堆肥化モデル地区へ水切りバケツを配付した。
		米子市 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町	生ごみ堆肥化装置助成制度	H27～R元 (H27～R元)	家庭用生ごみ処理機等の購入補助を実施した。
		米子市 境港市 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町	民間リサイクル事業	H27～R元 (H27～R元)	【日吉津村・日野町】民間企業より排出される生ごみ（魚のあら）をリサイクル製品へ加工 【伯耆町】モデル地区での生ごみ堆肥化事業の実施
15	集団回収の促進	米子市 境港市 日吉津村 南部町 伯耆町 日野町 江府町	奨励金制度	H27～R元 (H27～R元)	資源ごみ回収の実績に応じ、自治会等に回収奨励交付金の交付を実施した。
		日吉津村	子ども会の活動支援	H27～R元 (H27～R元)	継続して実施した。
		南部町	小中学校の活動支援	H27～R元 (H27～R元)	集団回収奨励金の交付を実施した。
		日南町	廃食油の回収	H27～R元 (H27～R元)	継続して実施した。

16	地域の推進体制	米子市 境港市 大山町 南部町 伯耆町 日南町	リサイクル推進委員の委嘱等	H27～R 元 (H27～R 元)	リサイクル推進員の委嘱、委員会の開催を行った。
17	不用品交換の充実	米子市 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町	フリーマーケット情報の発信	H27～R 元 (H27～R 元)	ホームページ等で情報発信。
18	使用済み紙おむつの燃料化	南部町 伯耆町	分別収集あるいはピックアップ回収による資源化	H27～R 元 (H27～R 元)	【南部町】H28 より処理を開始した。 【伯耆町】H23 より継続して実施した。
19	小型家電製品のリサイクル	米子市	分別収集あるいはピックアップ回収による資源化	H27～R 元 (H27～R 元)	H26. 11 から回収を開始した。
		境港市	分別収集あるいはピックアップ回収による資源化	H27～R 元 (H27～R 元)	H28 年度から回収を開始した。
		6 町 1 村	回収、利用方法検討	H27～R 元 (H27～R 元)	【日吉津村】H27 年度から回収を開始した。 【大山町】R 元年度から回収を開始した。 【南部町・伯耆町】継続検討 【日南町】H28 年度から回収を開始した。 【日野町】オリンピックメダル作成資源として小型家電を回収した。(R 元) 【江府町】オリンピックメダル作成資源として携帯電話回収に協力した。(R 元)

	20	生活排水対策	し尿1市3町1村	水環境の回復、保全に関する教育や広報・啓発活動の充実	H30～R元 (H30～R元)	<p>【米子市】台所用ろ過袋の斡旋を行っている環境美化推進団体に対して交付金を支給し事業補助を行った。</p> <p>【南部町・伯耆町】水保全に関する記事を広報紙に掲載し啓発を行った。</p> <p>【大山町】社会科見学を実施した。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	可燃ごみの集約処理	米子市 境港市 日吉津村 大山町	可燃ごみの効率的処理に向けた米子市焼却施設での集約処理	H27～R元 (H27～R元)	<p>米子市焼却施設へ可燃ごみの処理を委託。</p> <p>H28年度から境港市の可燃ごみの処理を開始した。</p>
	22	事業系一般廃棄物対策	2市6町1村	適正処理や資源化の推進のため、排出事業者に対する分別徹底やごみ排出削減の指導	H27～R元 (H27～R元)	<p>事業所向けパンフレットにより、ごみの減量、適正処理の啓発を行った。</p> <p>【南部町】継続実施</p> <p>【日野町】広報、ごみ収集カレンダー等による周知を行った。</p>
	23	生活排水処理の現状と今後	し尿1市3町1村	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽を効果的に組み合わせ、早期既成に向けて整備を進めていく。	H27～R元 (H27～R元)	<p>【米子市】下水道等の整備が当分の間見込まれない区域において、合併処理浄化槽の整備を促進するため、合併浄化槽の設置に係る補助制度の補助対象者、対象人槽、補助額、補助基数について拡充を行った。</p> <p>【大山町】個人設置型合併浄化槽設置補助金の交付</p> <p>【南部町・伯耆町】町管理型合併浄化槽の普及促進を図った。</p>

	24	し尿・汚泥処理対策	鳥取県西部広域行政管理組合	し尿浄化場から公共下水道施設への接続の検討	H27～R元 (H27～R元)	公共下水道施設への接続の可能性について検討を行った結果、現時点においては、公共下水道施設にし尿等を受入れるための余力が無く、接続するためには、機能増強が必要であることが確認された。 今後、早期接続に向けて、公共下水道施設の整備計画等との調整を図ったうえでさらに検討を進める。
処理施設の整備に関するもの	1	マテリアルリサイクル推進施設の整備	鳥取県西部広域行政管理組合	エコスラグセンターの一部機能を利用しつつ、不燃物残さ中のプラスチック選別処理施設の整備	H30～R元 (H30～R元)	計画変更 施設整備方針の変更により、プラスチック選別処理施設への機能転換事業が中止となった。(H30.8月) ※ 一般廃棄物処理施設の廃止(H28.2月)
	2	エネルギー回収推進施設の基幹的設備改良 期間：H28～H31(予定)	米子市	長寿命化計画に基づく基幹的設備改良事業	H28～R元 (H28～R元)	CO <sub>2</sub> の削減と施設の延命化を目的とし、制御装置等の基幹的設備の改良工事を実施した。
	3	ごみ焼却施設の基幹的設備改良 期間：H29～H30(予定)	南部町・伯耆町清掃施設管理組合	長寿命化計画に基づく基幹的設備改良事業	H29～H30 (H29～H30)	老朽化した基幹的設備の基幹改良工事を実施した。
	4	マテリアルリサイクル推進施設の整備	境港市	境港市清掃センター解体跡地を利用し、資源物のストックヤードを整備	R2～R3 (R2～R3)	計画変更 事業期間をR4年度～R5年度に変更した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	鳥取県西部広域行政管理組合	生活環境影響調査、施設発注支援	H27～H30 (H27～H30)	機能転換に伴う発注支援等を実施した。(H27～H28) 計画変更 (H30.8月事業中止)

の	32	2の計画支援	米子市	施設発注仕様書など	H27 (H27)	エネルギー回収推進施設の基幹的設備改良事業に伴う施設発注仕様書などの策定を実施した。
	33	3の計画支援	南部町・伯耆町清掃施設管理組合	生活環境影響調査、施設発注支援など	H28～H29 (H28～H29)	ごみ焼却施設の基幹的設備改良事業に伴う生活環境影響調査、施設発注支援等を実施した。
	34	4の計画支援	境港市	調査、計画、設計、施設発注支援等	R元 (R元)	計画変更 事業期間をR3年度に変更した。
	35	集約化に係る調査	鳥取県西部広域行政管理組合	浄化場の集約化の検討に係る計画策定支援	H30 (H30)	し尿等の量・質の予測値から、浄化場の集約化が可能であることが確認され、効率的な施設運営の観点等から令和2年4月に集約化を行うこととした。
	36	集約化に係る基本構想	鳥取県西部広域行政管理組合	施設整備基本構想の策定支援	R元 (R元)	次期一般廃棄物処理施設の整備に係る人口推計、ごみ目標量の設定、施設整備概要等の施設整備基本構想の策定支援を実施した。
その他	51	不法投棄対策	2市6町1村	不法投棄防止のためのパトロールの継続、不法投棄されにくい環境の整備	H27～R元 (H27～R元)	不法投棄監視カメラ・不法投棄防止看板等を設置した。 不法投棄監視員によるパトロールを実施した。 【伯耆町】県補助金を活用し不法投棄の撤去を実施した。

52	災害等廃棄物に対する対策の推進	2市6町1村	「地域防災計画」に従い適正処理を行う。	H27～R元 (H27～R元)	【米子市】米子市災害廃棄物処理計画を策定した。(R元) 【日野町】災害廃棄物処理計画の策定予定(R3)、地域防災計画と整合性を図る。
----	-----------------	--------	---------------------	--------------------	---

### 3 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

#### ○ 排出量

事業系生活系総排出量合計について、目標の80,204tに対して、実績が98,589tであり、目標を達成することができなかった。目標を達成できなかった要因及び目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。

- ・ 事業系ごみの総排出量については、目標の30,195tに対して、実績が47,595tであり、1事業所当たりの排出量(資源化したごみ量を含まない)2.19t/事業所が現状に対し変動がないことから、資源ごみ(古紙類)の排出量が増加していることが要因と考えられる。
- ・ 生活系ごみの総排出量については、目標の50,009tに対して、実績が50,994tであり、人口が目標年度の推計値ほど減少しなかったことで可燃ごみ及び不燃ごみの排出量が削減できなかったことが要因と考えられる。

#### ○ 再生利用量

直接資源化量について、目標の6,465t(排出量に対する割合8.1%)に対して、実績が25,515t(排出量に対する割合25.9%)であり、目標を達成した。

総資源化量について、目標の24,417t(排出量に対する割合30.1%)に対して、実績が37,971t(排出量に対する割合38.3%)であり、目標を達成した。

これは、事業系資源ごみの排出量が増加したことで、再生利用量についても増加し、目標を上回る結果となった。

#### ○ エネルギー回収量

エネルギー回収量について、目標の18,600MWhに対して、実績が21,174MWhであり、目標を達成することができた。

これは、米子市クリーンセンターでの広域処理が進んだことで処理量が増加となり、発電量についても増加し、目標を上回る結果となった。(平成28年度から境港市の可燃ごみを処理)

#### ○ 最終処分量

最終処分量について、目標の4,498t(排出量に対する割合5.6%)に対して、実績が2,878t(排出量に対する割合2.9%)であり、目標を達成することができた。

これは、平成28年1月から焼却灰のセメント原料化並びに令和元年度から不燃物残さ(主にプラスチック)を焼却後、その灰を焙焼によって土木資材等に再資源化することにより最終処分量を削減し、目標を大きく達成することとなった。

(生活排水処理)

- 公共下水道  
人口は、目標の110,288人に対して、実績が111,240人であり、目標を達成することができたが、普及率では、目標の60.2%に対して実績が59.4%であり、目標を達成することができなかった。  
目標を達成できなかった要因及び目標達成に向けた方策について改善計画書を作成する。
- 集落排水施設等  
目標の27,371人（普及率14.9%）に対して、実績が28,217人（普及率15.1%）であり、人口、普及率ともに目標を達成することができた。
- 合併処理浄化槽等  
目標の19,104人（普及率10.4%）に対して、実績が20,217人（普及率10.8%）であり、人口、普及率ともに目標を達成することができた。

(都道府県知事の所見)

<ごみ処理>

排出量について、生活系ごみにおいては排出量が減少しているものの、いずれの指標においても目標を達成するに至っていない。その中でも事業系ごみの総排出量が現状（平成25年度）から増加し、ごみ総排出量全体を押し上げる要因となっているため、事業系ごみの削減が大きな課題であると考えます。

なお、最終処分量において焼却灰の再資源化に取り組んだ結果、目標を大きく上回っている点については評価する。

<生活排水処理>

生活排水処理については、公共下水道の「汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率」を除いた全ての項目で目標を達成しており、評価すべきである。